

令和5年度 第6回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和5年8月16日（水）9時30分～15時00分
- 2 集合場所 青森市役所駅前庁舎
- 3 出席者 子ども会議委員12名、子どもサポーター1名、事務局4名
- 4 活動内容 (1) グループ活動
(2) 青森市清掃工場の施設見学

5 開催概要

午前中はグループに分かれて活動を行い、午後は全員で青森市清掃工場の見学に行きました。

グループ活動

<オシ隊>

青森駅に集合し、自由通路の撮影後、実際に青い森鉄道に乗って浅虫温泉駅へ向かいました。浅虫温泉駅の中にある観光案内所でタオルの貸し出し料金について確認を取り、駅前にある足湯へ向かいました。駅前の足湯に入りながら目の前にある小さい日本庭園のような風景を楽しみ、トンボに風流を感じたり足湯の温度が場所によって違うことを発見しました。結構人気で浸かりに来ている人が多かったです。

続いて飲泉所と温泉たまご場へ向かい、温泉たまごを15分と20分でゆで時間を分けて食べたり、飲泉したりしました。温泉たまご場はとても熱く、小中学生だけでやるのは少し難しく、高校生以上だと安心してできそうだと思います。また、飲泉は飲んでみたいと言った委員だけ飲みましたが、温泉の香りが強く熱かったです。冷まして飲んでみると、ゆで卵のような味を感じました。

お昼は2組に分かれ、浅虫温泉駅周辺にある宿屋つばきの『スパイシーカレー』と喫茶兼ギャラリーもある『浅虫コリドー』で食事をし、最後にゆ～さ浅虫に行き、キッズスペースの写真を撮り、海を見ながらジェラートやアイスクリームを食べました。

浅虫を満喫できるコースをみんなに広められるよう、マップを作成したいと思います。



<Improve A. B. C. >

「ごみのない綺麗な青森市」にするための活動として、合浦公園でゴミ拾いを行いました。球場側の入口から海側へ進み、西側の遊具や動物がいるところを通って元の場所へ戻るコースで行うことにしました。

実際にごみ拾いを開始すると、たばこの吸い殻や、夏休みということもあってか、花火のごみなどが落ちていました。委員からは、「合浦公園は花火が禁止のはずなのに」という声も上がりました。公園内には想像と違いごみが多く落ちておらず、ゴミ袋いっぱいとはなりませんでしたが、各自集めたごみを燃えるごみとプラスチックで分別してゴミ拾い活動は終了しました。今後の子ども会議で使うため、まつぼっくりも集め、まつぼっくりとごみあわせて約1kgになりました。

お昼は2組に分かれ、合浦公園の近くでテイクアウトしたお弁当を食べたり、合浦公園の近くにある『ラーメンさんぱち』に行きラーメンを食べたりしました。



青森市清掃工場の施設見学

Improve A. B. C. グループのうち3名が、午前中合浦公園で集めたごみの持ち込みをするため、先に出発し、残りのメンバーはオン隊と合流してから青森市清掃工場へ向かいました。

ごみの持ち込みでは、持込前とプラットホームでごみを出した後の2回、車ごと計量を行い、その差で持ち込んだ量を確認します。

工場の施設見学では、まず、係の人から青森市のごみ事情について説明を受け、ビデオを見て、ごみについての理解を深めました。青森県のごみの量は全国で3番目に多く、リサイクル率も14.4%で全国41位と低いことを知りました。ごみを減らしリサイクル率を上げるために自分たちで何ができるか考える必要があると思いました。

次に工場内の見学を行い、最後に発電体験を行いました。30秒足踏みを行い、どれだけ発電できるかの体験で、係員の「足踏みよりたくさんジャンプをした



方が良い」というアドバイスを受けて実行した委員が 3.6 mW を記録し、参加した委員の中で 1 番でした。青森市清掃工場では、4000 kW 以上の発電が行われており、これは委員の最高記録の約 10 億倍以上の電力で、とても多くて驚きました。とても疲れましたが、実際に発電体験をすることができて楽しかったです。



以上で、施設見学は終了し、案内していただいた係員に感謝を伝え、今回の子ども会議は終了しました。今日の活動を振り返り、青森市へ提案できることを考えたり、Instagram を使って情報発信を行ったりしたいと思います。